

# さとう健司



ごあいさつ



平成28年11月県議会の一般質問では、国において都市農業振興基本法が制定され、市街地とその周辺の農地を保全する方向性が打ち出されたのを受けて、県として早急な取り組みを農政水産部長に求めました。

本年も皆さんの思いに寄り添い、活力ある地域社会の実現を目指して、全力で議員活動に取り組んでまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

## ◆平成28年11月県議会◆

### 都市農業の振興を求める

Q 都市農業の価値を再認識し、機能を高めていく必要があるのでは？

A 本県の都市農業は、生産者と消費者が近い特徴を生かして小松菜やほうれん草、イチゴを供給し地産地消に貢献するとともに、「田んぼの学校」をはじめ学校教育にも活用され、農業への関心を高めてもらうなど重要な役割を果たしている。



平成28年3月に策定した「滋賀県農業・水産業基本計画」においても都市的・地域の特徴を生かした農業を振興するとしており、都市農業の機能を維持、向上させていく。

Q 本県における都市農業の振興に向けた具体的な取り組みは？

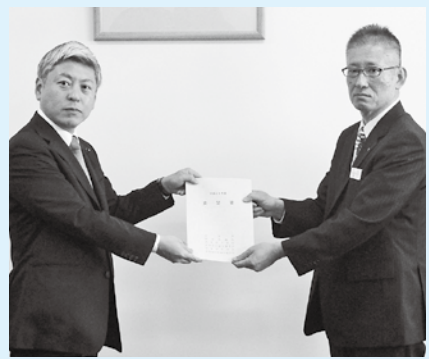
A 今年度、本県の都市農業の現状の実態調査に着手する。来年度は、地方計画の策定に向け、関係部局と協議を始め、都市農業者や住民、有識者、市町等の意見を聞きながら検討を進めていく。

Q 税負担のあり方や制度の運営改善を国に提案、要望するべきでは？

A 国の基本計画では、都市農地の保全を図るため、市街化区域内農地について、一定期間の農業経営の継続と農地として管理・保全されることが明確なものに限り、その保有にかかる税負担のあり方を検討するとされている。

今後、国から示される施策や新たな制度等について注視し、必要な事項については国への提案、要望を検討していく。

### 活動報告



#### JR西日本に要望活動

県民生活・土木交通常任委員会の委員長としてJR西日本京都支社を訪れ、湖西線の利便性向上や駅のバリアフリー化の推進等を要望しました。

JR西日本からは比良駅のバリアフリー化について来年度、概略設計を行うとともに国への補助金の申請を進め、平成31年度に詳細設計、平成32年度に工事に着手するとの整備スケジュールが示されました。

一方、新生美術館や新県立体育館の整備など駅周辺の状況が変化する中で瀬田駅への新快速電車の停車を求めたのに対しては、「新快速を停車してほしい」という要望は数多くある。持てる資産が限られる中で、駅別に乗車人員や10年後の傾向等を見ながら色々なことを考えている」との見解が示されるに留まりました。

また、先月、北陸新幹線の延伸について「小浜—京都ルート」が与党プロジェクトチームで正式に決定したことを受けて、今後、湖西線が並行在来線となりJR西日本から経営分離されないよう働きかけを強めていきます。

#### 活動ギャラリー



スポーツ文化ワールドフォーラム



全国障害者スポーツ大会社行式



瀬田の唐橋クリーンキャンペーン